

令和8年度 全国学力・学習状況調査 北栄町の概要

令和8年9月4日
北栄町教育委員会

1 実施状況 令和8年4月23日実施

【小学校6年生】

教科等	国語	算数	質問紙
人数	129	129	134

【中学校3年生】

教科等	国語	数学	英語	質問紙
人数	114	114	115	115

2 教科の概要

(1) 小学校6年生

【国語】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	129	13	7.5	57
鳥取県（公立）	4,208		7.9	60
全 国（公立）	922,411		7.9	60.9

【算数】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	129	16	9.0	56
鳥取県（公立）	4,206		8.8	55
全 国（公立）	922,778		9.0	56.4

(2) 中学校3年生

【国語】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	114	15	9.3	62
鳥取県（公立）	4,091		9.0	60
全 国（公立）	841,873		9.6	63.9

【数学】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	114	16	8.3	52
鳥取県（公立）	4,089		8.5	53
全 国（公立）	842,491		9.1	57.0

【英語】

	児童数	平均 IRT スコア
北栄町	115	459
鳥取県（公立）	3,918	469
全 国（公立）	839,203	499

※英語は学校ごとに回答した問題が異なる（共通問題と選択問題）ため、平均正答率ではなく、IRT スコアを算出しています。

IRTスコア：受験者の能力と問題の難易度を共通尺度上で評価した数値⇒500を基準

3 校種ごとの教科の傾向

(1) 小学校6年生

【国語】・・・13問

◆平均正答率・・・北栄町57%、鳥取県60%、全国60.9%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 4問
- ・平均正答率が県平均以上の問題は 4問
- ・学習指導要領の内容では、「読むこと」で全国平均を上回っている。「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」では全国平均を下回っている。

◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題

「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題（みじかい）（北栄町 85.3%，全国比 +5.3）

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる」問題（選択式）（北栄町 39.5%，全国比 -9.4）

「情報と情報との関係付の仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる」問題（選択式）（北栄町 46.5%，全国比 -9.1）

「引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題（記述式）（北栄町 24.8%，全国比 -8.7）

「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる」問題（選択式）（北栄町 49.6%，全国比 -8.3）

[国語関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高いもの

「国語の授業は得意ですか」（北栄町 60.5% 鳥取県 58.6% 全国 60.4%）

「5年生までにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできているようになったところはどこかを伝えてくれましたか」

（北栄町 80.6% 鳥取県 77.3% 全国 78.1%）

「5年生までにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか」

（北栄町 76.9% 鳥取県 73.2% 全国 75.1%）

■肯定的な回答の割合が全国県平均より低いもの

「国語の勉強は好きですか」（北栄町 56.7% 鳥取県 56.6% 全国 57.4%）

「国語の授業の内容はよくわかりますか」

（北栄町 79.2% 鳥取県 79.9% 全国 81.5%）

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

（北栄町 89.5% 鳥取県 90.4% 全国 90.4%）

「5年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていたか」

（北栄町 76.1% 鳥取県 77.3% 全国 80.7%）

「5年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか」

（北栄町 76.8% 鳥取県 75.5% 全国 78.3%）

【算数】・・・16問

◆平均正答率・・・北栄町56%、鳥取県55%、全国56.4%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 8問
- ・平均正答率が県平均以上の問題は 10問
- ・学習指導要領の領域では、「データの活用」の領域で全国平均を上回っている。
「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」の領域では下回っている。

◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題

「立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる」問題

(北栄町 84.5%, 全国比 +11.8)

「示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題

(北栄町 67.4%, 全国比 +11.2)

「整数と小数の減法の計算をすることができるかどうかをみる」問題

(北栄町 63.6%, 全国比 +5.5)

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できるかどうかをみる」問題

(北栄町 27.9%, 全国比 -8.2)

「体積の意味について理解しているかどうかをみる」問題

(北栄町 33.3%, 全国比 -6.8)

「異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題

(北栄町 37.2%, 全国比 -6.8)

「日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題

(北栄町 38.8%, 全国比 -6.4)

[算数関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高いもの

「5年生までに受けた授業では、算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか」 (北栄町 83.6% 鳥取県 80.9% 全国 81.7%)

「5年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか」 (北栄町 89.5% 鳥取県 88.6% 全国 88.3%)

■肯定的な回答の割合が全国県平均より低いもの

「算数の勉強は得意ですか」 (北栄町 53.7%、鳥取県 56.9%、全国 60.1%)

「算数の勉強は好きですか」 (北栄町 51.5%、鳥取県 55.9%、全国 57.6%)

「算数の授業の内容はよく分かりますか」 (北栄町 70.9%、鳥取県 74.7%、全国 77.5%)

「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

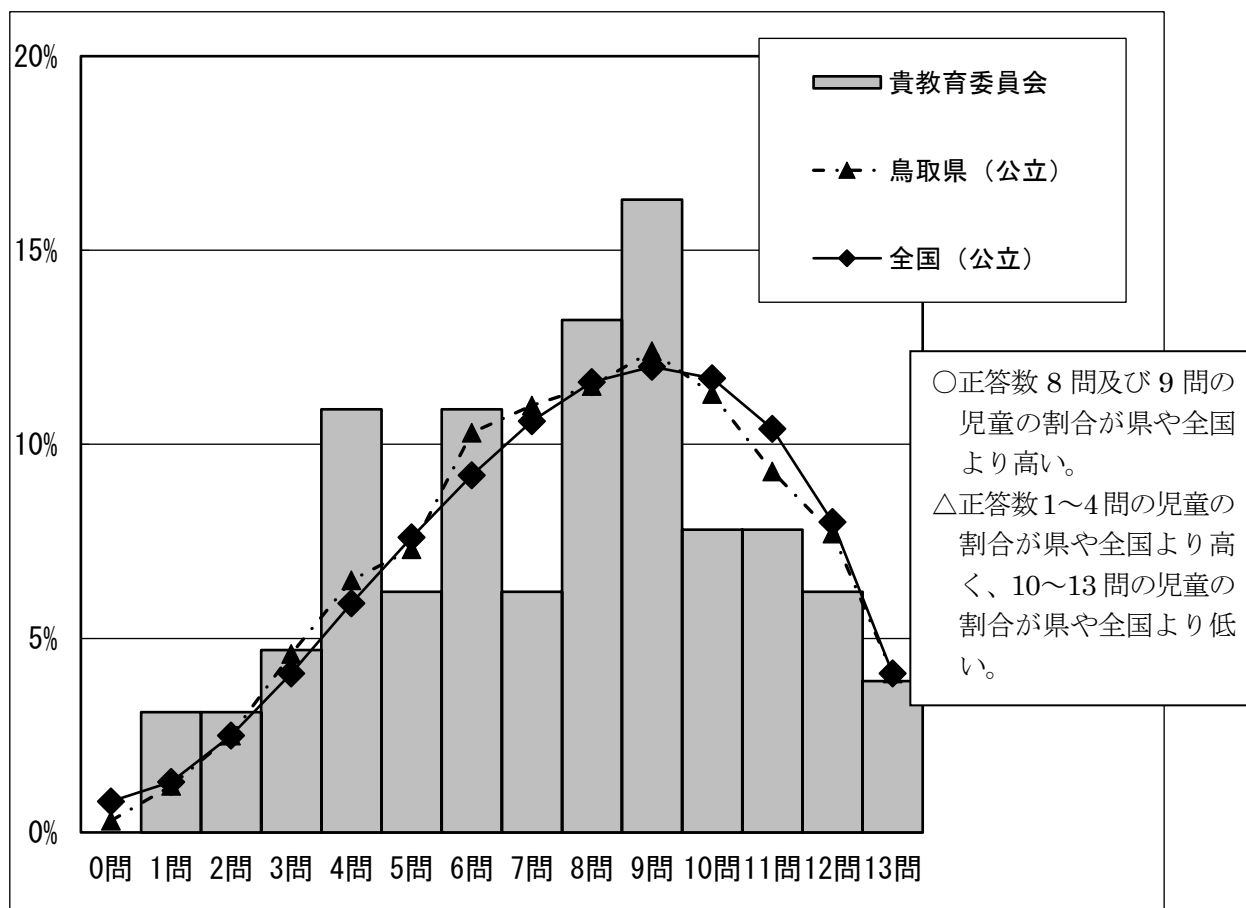
(北栄町 90.3%、鳥取県 91.1%、全国 91.0%)

「5年生までに受けた授業では、算数の授業で学習したことを、普段の生活で活用できていましたか」 (北栄町 82.9%、鳥取県 81.2%、全国 83.2%)

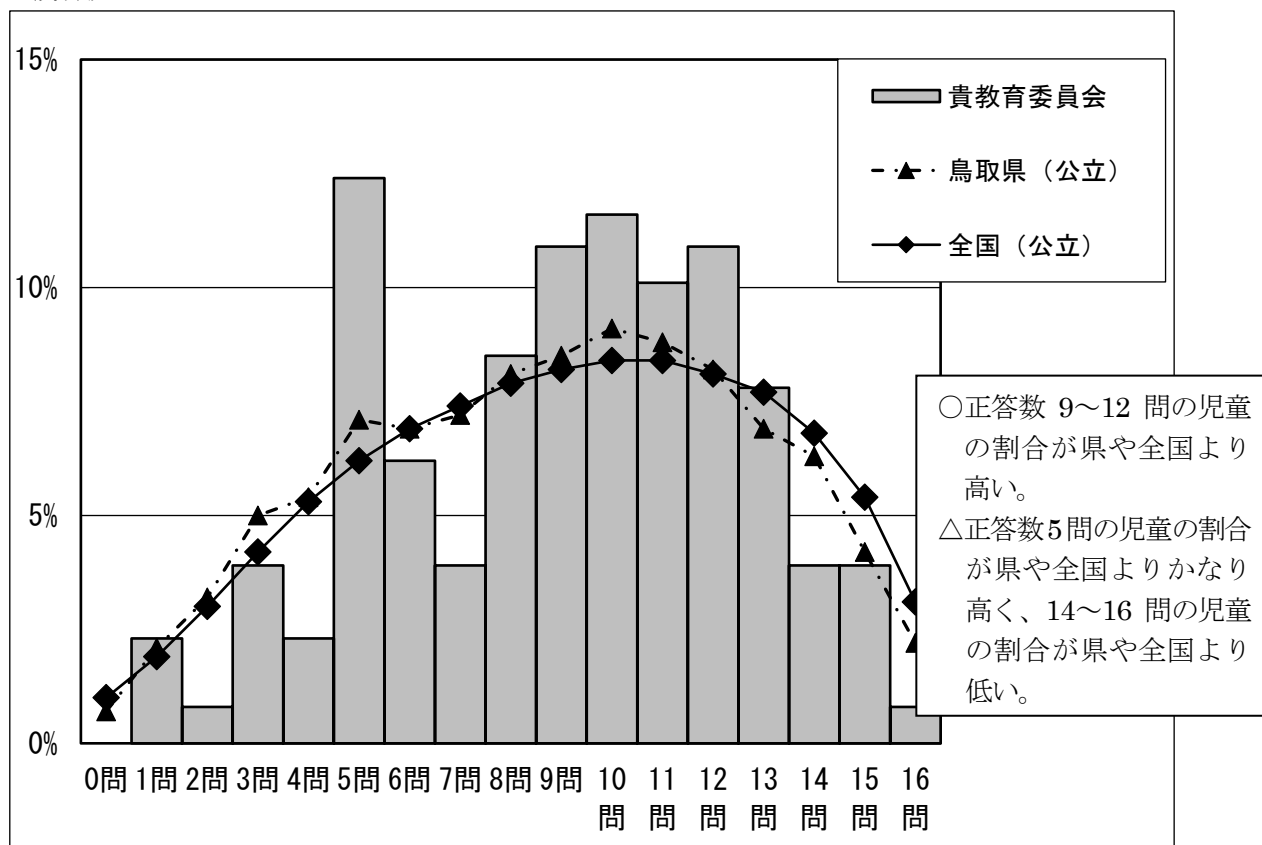
「5年生までに受けた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか」 (北栄町 59.7%、鳥取県 60.8%、全国 63.0%)

★各教科の正答数分布グラフ

〔国語〕



〔算数〕



○ 小学校授業改善に向けて

全体として、平均正答率は国語が全国平均を下回り、算数は全国と同等の結果となりました。正答数分布グラフから、国語では低位層の割合が全国より高く、算数では14問から16問の上位層が全国より低いという課題があります。児童の質問紙調査では、国語・算数ともに「授業の内容がよくわかる」と回答した割合が全国平均を下回って（国語79.2%、算数70.9%）いますが、児童が「分かった・できた」という達成感をより実感できる授業づくりへの期待への高まりと捉えることができます。また、自分で学び方を考えること（自己調整）ができていない児童は、学力を身に付けられている傾向が見られます。

国語では「読むこと」で全国を上回る成果を上げていますが、「情報の扱い方」や「書くこと」において全国より下回っています。また、選択式問題において「情報と情報との関係を理解する」力（全国比-9.4）や、記述式において「引用を用いて自分の考えを工夫して書く」力（全国比-8.7）に課題があります。

条件付きの記述や根拠を伴う書く活動の充実だけでなく、「情報の再構成」を意識した指導が有効であると考えられます。具体的には、文章と図表を結びつけ、自分の考えをまとめる際、相手の考えと比較しながら問いを立てる「対話的」な学びの場を意図的に設定していくような学習場面が設定されるとよいです。自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり、根拠をもとに自分の考えをまとめたりする活動は国語の学力向上に有効であると考えられます。

算数は「データの活用」領域で全国を大きく上回る強み（立方体の体積+11.8、表の誤り指摘+11.2）を持つ一方、「数と計算」「図形」など、数学的な概念の深い理解に課題が残ります。そうした点は、「単位量当たりの大きさ」の意味理解（全国比-8.2）や「異分母の分数の大小比較」の記述（-6.8）を学習する際、図や言葉を用いた対話的なアウトプットを工夫することで課題を解決していくこともできそうです。

学力差が大きい傾向にあるため、一斉指導に留まらない「個別最適な学び」の推進が必要であると考えます。児童が分からない時に「あきらめずに考える」姿勢は83.6%（全国81.7%）と高いため、この粘り強さを生かし、自らの思考プロセスを言葉や図で説明し合う活動を強化することで、抽象的な概念の定着が図られると、全体のレベル向上につながると考えられます。問題を、どのように考えたのかについて説明する活動も併せておこなうと有効です。

ICT活用の状況が変わってきており、タブレットの「ほぼ毎日使用」の割合は36.5%（全国43.0%）と昨年度（50.4%）より推移していますが、これは一歩進んで、単なる「使用頻度」から学習目的に応じた「効果的な活用の質」へと、実践が熟成・厳選されている表れと受け止められます。

アウトプットへ（発信力）への課題も見られ、「自分の考えが伝わるよう工夫して発表している」児童は54.4%に留まり、全国（66.4%）と12ポイント以上の差があります。一方で、「学んだことを生かし自分の考えをまとめる活動」は74.7%（全国73.4%）と改善されてきています。「友達の考えを大切に協力して取り組む」割合は92.5%と極めて高く、本町の児童の大きな資質と考えられます。

今後は、教師が教えることが中心であった授業から、児童が自ら問いを立て、情報を吟味し、根拠を基に発信する授業への転換が進んでいくことが期待されます。「情報の扱い方」や「説明する力」の課題は、単一教科の問題ではなく、全教科を通じた「言語活動の充実」があつてこそ、解決に向かうものと考えられます。

質問紙調査の「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」割合は70.9%（全国80.1%、前年74.8%）であり、ここには子どもたちの社会参画意欲をさらに引き出す大きな可能性が残されています。これまで培ったコミュニティスクールの土台を活かし、子どもたちが「地域に寄与している」と実感できる実践へステップアップする機会を設定していくことが期待されます。

(2) 中学3年生

【国語】・・・15問

◆平均正答率・・・北栄町62%、鳥取県60%、全国63.9%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 5問
- ・平均正答率が県平均以上の問題は 11問
- ・学習指導要領の領域では、「読むこと」で、全国平均を上回っている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、全国平均を下回っている。

◆全国平均以上であった問題

「語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる」問題
(北栄40.4%, 全国比+5.2)

「目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかどうかをみる」問題
(北栄73.7%, 全国比+5.0)

「文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉えることができるかどうかをみる」問題
(北栄75.4%, 全国比+3.8)

「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる」問題
(北栄42.1%, 全国比+3.2)

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「単語の類別について理解しているかどうかをみる」問題 (北栄56.1%, 全国比-14.1)

「助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる」問題 (北栄77.2%, 全国比-7.1)

「情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかをみる」問題
(北栄65.8%, 全国比-4.6)

「互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる」問題
(北栄48.2%, 全国比-4.5)

【国語関係の質問紙】

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高い主なもの

「国語の勉強は得意ですか」 (北栄町64.4%、鳥取県51.3%、全国51.6%)

「国語の勉強は好きですか」 (北栄町77.4%、鳥取県58.3%、全国57.2%)

「国語の授業の内容はよく分かりますか」 (北栄町85.2%、鳥取県74.8%、全国76.8%)

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
(北栄町90.4%、鳥取県88.2%、全国88.2%)

「国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか」
(北栄町89.6%、鳥取県85.7%、全国84.8%)

「国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしていましたか」
(北栄町87.8%、鳥取県77.5%、全国76.1%)

■肯定的な回答の割合が全国県平均より低いもの
なし

【数学】・・・16問

◆平均正答率・・・北栄町52%、鳥取県53%、全国57.0%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 4問
- ・平均正答率が県平均以上の問題は 5問
- ・学習指導要領の領域では、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」で、全国平均を下回っている。

◆全国平均以上であった問題

「統一的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうか

かをみる」問題（北栄 50.0%，全国比+5.4）

「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる」問題（北栄 36.0%，全国比+4.1）

「累積度数の意味を理解しているかどうかをみる」問題（北栄 48.2%，全国比+2.2）

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「2直線が平行になるための条件を理解しているかどうかをみる」問題（北栄 34.2%，全国比-14.9）

「筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる」問題（北栄 33.3%，全国比-12.8）

「同類項の意味を理解しているかどうかをみる」問題（北栄 60.5%，全国比-10）

「具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができるかどうかをみる」問題（北栄 27.2%，全国比-9.9）

「与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる」問題（北栄 66.7%，全国比-8.5）

「具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうかをみる」問題（北栄 77.2%，全国比-8.5）

【数学関係の質問紙】

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高い主なもの

「数学の勉強は得意ですか」（北栄町 53.9%、鳥取県 47.9%、全国 48.5%）

「数学の勉強は好きですか」（北栄町 60.9%、鳥取県 53.6%、全国 56.1%）

「数学の授業の内容はよく分かりますか」（北栄町 75.7%、鳥取県 70.0%、全国 74.2%）

「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」（北栄町 81.7%、鳥取県 76.4%、全国 76.5%）

「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」（北栄町 80.9%、鳥取県 75.8%、全国 77.8%）

「文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができますか」（北栄町 68.7%、鳥取県 66.0%、全国 68.4%）

■肯定的な回答の割合が全国県平均より低いもの

「数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか」（北栄町 61.7%、鳥取県 65.7%、全国 60.4%）

【英語】

◆平均正答率（学校ごとで解いた問題が異なるため、全体の数値は算出できない）

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 0問
- ・平均正答率が県平均以上の問題は 3問
- ・学習指導要領の領域では、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」で、全国平均を下回っている。（話すこと[やりとり]、話すこと[発表]については算出できない）

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる」問題（北栄 15.4%，全国比-28.6）

「日常的话题について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる」問題（北栄 18.9%，全国比-24.9）

「日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる」問題（北栄 23.1%，全国比-24.4）

「音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケー

ションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる」問題

(北栄 38.3%, 全国比-20.6)

「社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる」問題

(北栄 31.3%, 全国比-16.2)

「音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる」問題

(北栄 46.1%, 全国比-14.1)

[英語関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高い主なもの

「聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか」

(北栄町 84.3%, 鳥取県 83.0%, 全国 82.8%)

「キーボードを使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか」

(北栄町 61.7%, 鳥取県 59.4%, 全国 61.3%)

■肯定的な回答の割合が全国県平均より低いもの

「英語の勉強は得意ですか」 (北栄町 35.7%, 鳥取県 36.9%, 全国 39.5%)

「英語の勉強は好きですか」 (北栄町 45.2%, 鳥取県 50.1%, 全国 51.2%)

「英語の授業の内容はよく分かりますか」 (北栄町 53.9%, 鳥取県 59.0%, 全国 64.2%)

「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

(北栄町 74.8%, 鳥取県 84.5%, 全国 87.6%)

「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか」

(北栄町 22.6%, 鳥取県 30.0%, 全国 34.1%)

「キーボードを使って英語を書くことができますか」

(北栄町 72.2%, 鳥取県 75.7%, 全国 76.7%)

「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか」

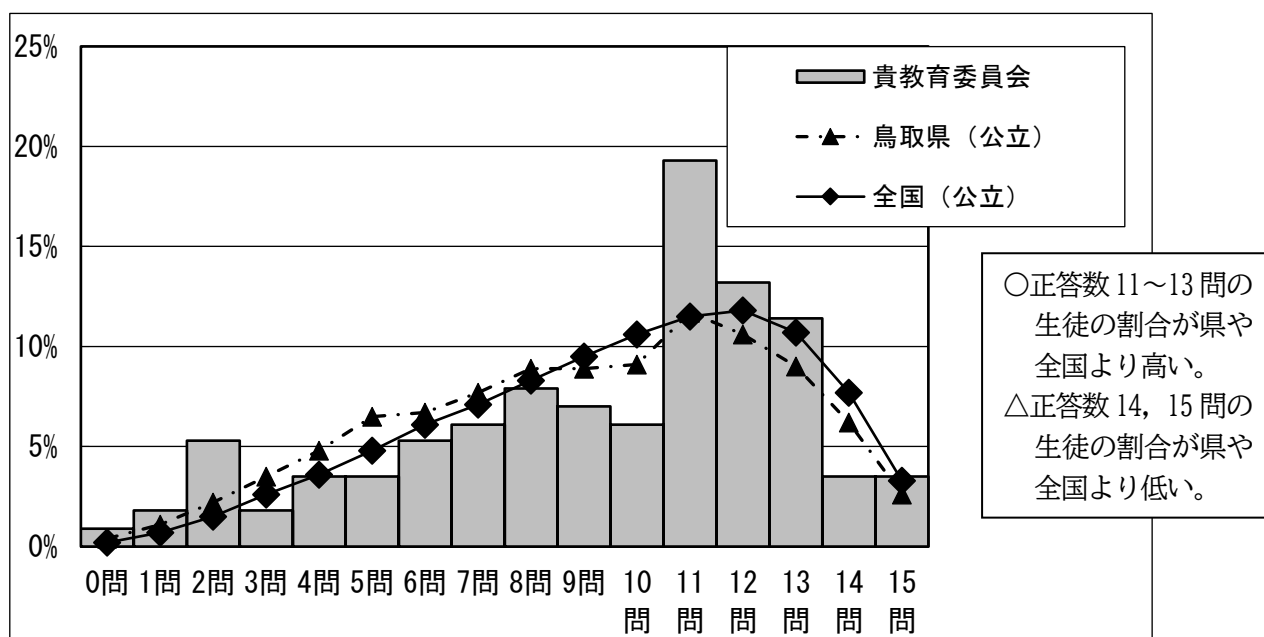
(北栄町 32.2%, 鳥取県 33.6%, 全国 36.6%)

「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか」

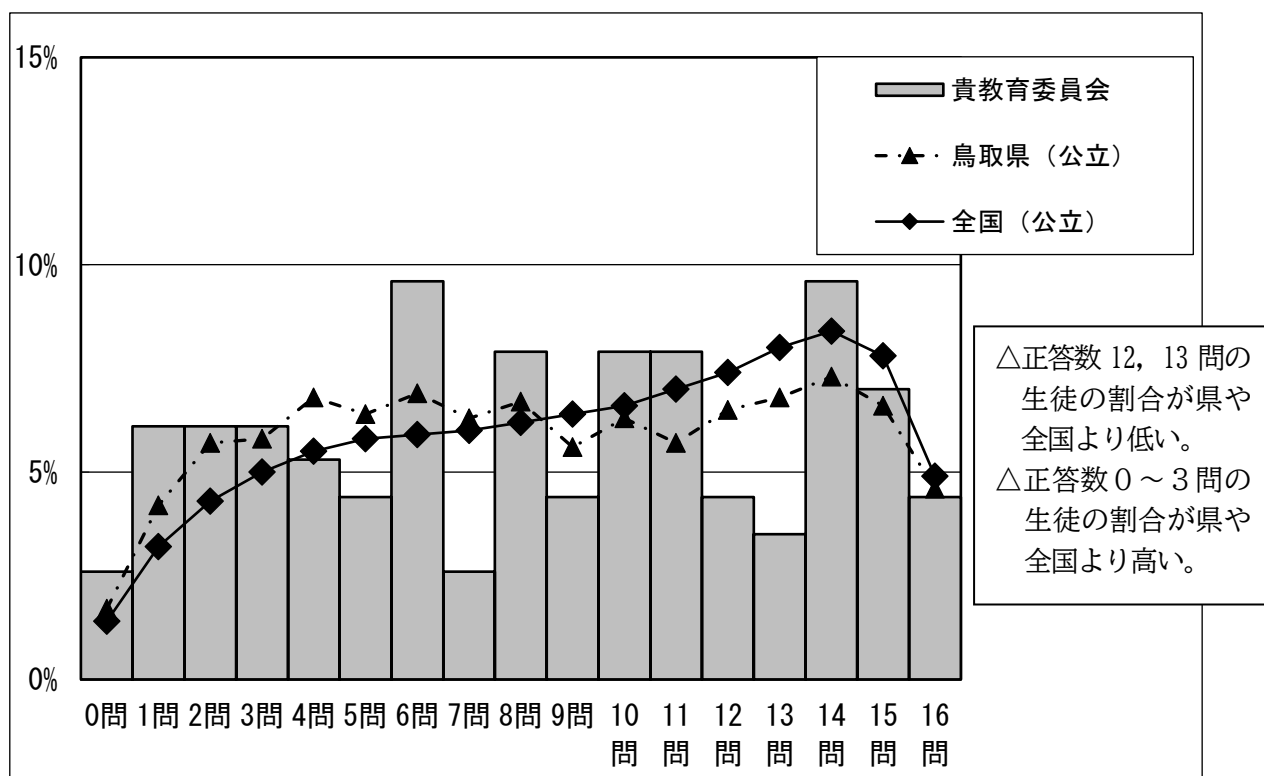
(北栄町 82.6%, 鳥取県 82.9%, 全国 85.1%)

★各教科のグラフ

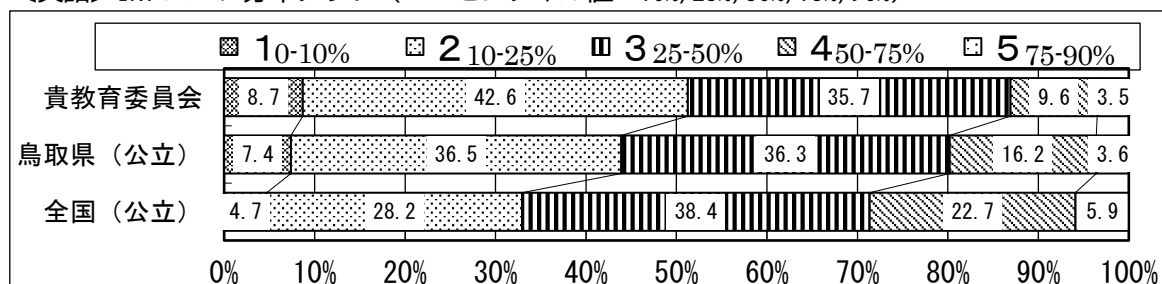
〔国語〕正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



〔数学〕正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



〔英語〕IRT スコア分布グラフ（パーセンタイル値：10%, 25%, 50%, 75%, 90%）



△値が県や全国より全体的に低い傾向にある。

中学校英語では、IRT（Item Response Theory：項目反応理論）を活用して分析。

IRT スコアの値（10～90%）が高い生徒ほど、全体の正答率が高く、内容の理解ができている傾向がある。

○ 中学校の授業改善に向けて

全体として、平均正答率は国語・数学・英語の全教科で全国平均を下回る結果となりました。特に数学と英語において全国平均との差が大きく、数学は5.0ポイント、英語（IRT スコア）は40ポイントの開きがあります。一方、質問紙調査では国語・数学ともに全国を上回る高い授業満足度を示しており、生徒が前向きに授業へ参加している基盤が整っていることが見て取れます。この「高い学習意欲」を強みとし、分かった感覚を、確実に解けたという実感へ高めていくことが伸びしろとして存在します。基礎知識を思考力・表現力へと繋げる発展的な授業展開へのステップアップが期待されます。学習の分かった点、分からなかった点を見直し、次の学習につなげるような振り返り活動を充実させていくことが、学力向上の土台となっていくと考えられます。まだ、問題をどのように考えたのか、自分の考えを説明するような授業展開を、すべての教科でおこなっていくことで、特定の教科に限定しない学力の土台が築かれていくと思われます。

国語では「読むこと」は全国平均を上回っていますが、「単語の類別」（全国比-14.1）や「助動詞の働き」（-7.1）など、文法的知識に大きな課題があります。また、話し合いを通じて結論を導く力（-4.5）も不足しています。知識を単なる暗記で終わらせず、自分の考えを修正・改善する活動を授業に組み込んでいくことで、課題解決が進んでいくと考えられます。自分の回答をペアで推敲し合い、根拠が明確か、表現が適切かを客観的に見直す「他者参照」の場を設けることで、論理的な記述力が向上していくことも期待されます。

数学では、「平行条件」（全国比-14.9）や「証明」（-12.8）、「同類項の意味」（-10）など、数学的な概念の理解と論理的な記述が苦手である傾向が見られます。正答数分布では、0～3問の低位層の割合が全国より高く、学力下位層への支援が急がれます。教師が教えるインプット中心の授業から、生徒が自分の言葉で「なぜそうなるか」を説明し合う授業への転換が求められます。他者の説明を吟味し、不足している部分を補う活動を通じて、理解を知識・技能として定着させるような活動が期待されます。

英語では「書くこと」（全国比-28.6）や「聞くこと」（-24.9）に課題が見られます。特に、自分の気持ちや考えを整理してまとまりのある文章を書く力をつけていく必要があります。「聞いたり読んだりしたことを英語で書く活動」は84.3%と全国を上回る頻度で行われています。今後はその頻度を維持しつつ、より深い理解や表現に結びつけるように、質の向上が求められます。ICTを活用して英文を構成するだけでなく、プレゼンテーションとフィードバックのサイクルを回し、知識を再構築する機会を増やすことが有効と考えられます。

ICT活用の質的転換：1・2年生時にICTをほぼ毎日使用した割合は93.0%と、全国（55.1%）を上回っています。しかし、「資料や文章の組み立てを工夫して発表する」割合（67.0%）などは、ICT使用頻度ほど高くありません。ICTを単なる「検索・提示」の道具ではなく、「思考・表現・協働」のツールとしてさらに使いこなしていくなど、次のステージへと進化させていく機会と捉えられます。

家庭学習は平日の学習時間が2時間以上の生徒は22.6%（全国30.1%）と低く、特に休日の学習不足が顕著です。学校からの課題をこなすだけでなく、自分の興味関心を追求する自学自習の形を生徒・保護者に伝え、自主的な学びをサポートする連携強化をしていくことも必要です。

「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考える生徒は72.2%で、昨年度（R7）の74.8%から微減しています。中学校においては、「鳥取ふるさとキャリア教育」の趣旨を受け、総合的な学習の時間等を通じて、学んだ知識が実際の社会や地域でどう生きるかを実感させる機会が不可欠です。社会的な文脈の中で課題解決に取り組むことは、英語の「書くこと」や数学の「証明」などの表現活動に対し、適切な動機付けを与えることにもつながります。

「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考える生徒は72.2%（前年74.8%）と、依然として高い社会意欲を保持しています。「鳥取ふるさとキャリア教育」の趣旨を活かし、総合的な学習の時間等を通じて地域課題の解決に挑む実践的な場を広げることで、生徒の意欲をさらに高めていく活動がおこなわれていくことが期待されます。

児童生徒質問紙調査の概要 ※番号は、質問番号

【小学校】

番号	質問事項	北栄	県	全国	全国比
1	朝食を毎日食べていますか	93.3	94.3	93.3	0
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	85.8	83.5	82.8	3.0
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.6	91.1	90.7	1.9
8	自分には、よいところがあると思いますか	82.9	84.4	85.6	△2.7
9	先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか	88.8	92.5	91.4	△2.6
10	将来の夢や目標を持っていますか	73.1	81.2	81.8	△8.7
11	人が困っているときは、進んで助けていますか	89.6	93.2	92.7	△3.1
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.6	96.7	96.2	△0.6
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	91.8	95.4	95.8	△4.0
16	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	67.2	73.2	77.9	△10.7
22	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	77.6	76.6	79.4	△1.8
23	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（2時間以上）	13.5	16.0	21.6	△8.1
24	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（2時間以上）	3.0	4.7	4.9	△1.9
25	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（3時間以上）	3.7	4.7	9.6	△5.9
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	70.9	79.4	80.1	△9.2
35	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか（ほぼ毎日）	36.5	37.0	43.0	△6.5
38	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	54.4	57.1	66.4	△12.0
39	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	71.6	73.9	77.6	△6.0
40	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	74.7	70.9	73.4	1.3
42	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	79.8	83.2	85.7	△5.9
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	73.2	76.0	78.4	△5.2
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	92.5	90.9	91.4	1.1

52	国語の勉強は得意ですか	60.5	58.6	60.4	0.1
53	国語の勉強は好きですか	56.7	56.6	57.4	△0.7
54	国語の授業の内容はよく分かりますか	79.2	79.9	81.5	△2.3
55	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.5	90.4	90.4	△0.9
60	算数の勉強は得意ですか	53.7	56.9	60.1	△6.4
61	算数の勉強は好きですか	51.5	55.9	57.6	△6.1
62	算数の授業の内容はよく分かりますか	70.9	74.7	77.5	△6.6
63	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.3	91.1	91.0	△0.7
69	英語の勉強は得意ですか	83.0	79.7	78.4	4.6
70	英語の勉強は好きですか	82.1	81.4	80.1	2.0
71	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか	42.5	40.6	45.4	△2.9
生活習慣・学習習慣		自己有用感・規範意識		主体的・対話的で深い学び	
地域とのかかわり		ICT を活用した学習状況		学習に関する興味・関心等	

【中学校】

番号	質問事項	北栄	県	全国	全国比
1	朝食を毎日食べていますか	88.7	92.4	90.9	△2.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	85.3	84.1	80.5	4.8
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.2	93.6	92.4	△0.2
5	自分には、よいところがあると思いますか	82.6	84.0	84.0	△1.4
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	90.4	92.2	90.9	△0.5
7	将来の夢や目標を持っていますか	62.6	67.3	67.6	△5.0
8	人が困っているときは、進んで助けていますか	93.9	90.4	90.8	3.1
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	87.8	95.2	95.1	△7.3
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.8	96.0	95.9	△1.1
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	77.4	77.5	78.6	△1.2
16	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	87.8	76.9	78.2	9.6
17	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（2時間以上）	22.6	21.0	30.1	△7.5
18	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらい、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどは除く）（2時間以上）	24.4	11.2	8.6	15.8
19	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（3時間以上）	19.1	15.5	16.8	2.3
27	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	72.2	74.1	72.3	△0.1
28	1、2年生時、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか（ほぼ毎日）	93.0	67.4	55.1	37.9
31	1、2年生時、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	67.0	58.2	65.5	1.5
32	1、2年生時、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	83.4	78.1	78.8	4.6

33	1、2年生時、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	79.1	71.6	70.8	8.3
35	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	88.7	85.7	87.0	1.7
36	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	87.0	78.1	79.0	8.0
39	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	93.1	92.4	92.4	0.7
44	国語の勉強は得意ですか	64.4	51.3	51.6	12.8
45	国語の勉強は好きですか	77.4	58.3	57.2	20.2
46	国語の授業の内容はよく分かりますか	85.2	74.8	76.8	8.4
47	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.4	88.2	88.2	2.2
52	数学の勉強は得意ですか	53.9	47.9	48.5	5.4
53	数学の勉強は好きですか	60.9	53.6	56.1	4.8
54	数学の授業の内容はよく分かりますか	75.7	70.0	74.2	1.5
55	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	81.7	76.4	76.5	5.2
60	英語の勉強は得意ですか	35.7	36.9	39.5	△3.8
61	英語の勉強は好きですか	45.2	50.1	51.2	△6.0
62	英語の授業の内容はよく分かりますか	53.9	59.0	64.2	△10.3
63	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	74.8	84.5	87.6	△12.8

生活習慣・学習習慣	自己有用感・規範意識	主体的・対話的で深い学び	学習に関する興味・関心等
地域とのかかわり	ICTを活用した学習状況		